



GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2740



2019-2020年度 国際ロータリー第2740地区

ガバナー 千葉 憲 哉

2019.11
Vol. **5**



ROTARY CONNECTS THE WORLD



2019-2020年度 国際ロータリーのテーマ
ロータリーは世界をつなぐ

CONTENTS

国際ロータリーのテーマ	1
Governor's message	2
2022~2023	
ガバナーノミニー・デジグネート推薦の件	3
ガバナー公式訪問クラブ報告	4
会員数・出席報告	17
新会員・物故会員・寄付者紹介	18
マダガスカル通信Vol.5	20
地区大会案内	22
芸術家の視点・編集後記	裏表紙

表紙の写真説明

多良山麓の白木峰
高原をわたる風のことに
頷くように揺れている
コスモスの妖精たち

Governor's message

最近のロータリーの変化に対する
貴クラブの規定審議会決議事項への
対応方法について

2019-2020年度第2740地区ガバナー 千葉憲哉

2019年4月の規定審議会で主な事では下記の事が決まりました。ロータリアンの皆様は衝撃を受けられたと思います。あなたのクラブの規定審議会採決事項への対応としては、第2740地区のクラブには特権クラブは存在しませんので、全てのクラブがこの決定に従わなければなりません。だから、「ロータリーについて行けない」とか、「これではロータリーではないではないか」とか数々の不満が出ております。そこで8月2日に青森県八戸で開催されたIMに参加された国際ロータリー会長マーク・ダニエル・マローニーにお会いし、全国から駆け付けたガバナーが直接説明を求めました。加えて、9月27日・28日青森で開催された第2830地区、地区大会に参加し、そこで2019-2020年度RI研修リーダー山崎純一から説明していただきました。その結果を皆様にお伝えします。

〈2019年4月の規定審議会決定事項〉

①会計情報開示について

人頭分担金への変更の有効性および影響をクラブに開示する件

RIは、人頭分担金の増額に理解を得るための**会計情報の開示**に取り組むべきである。否決事項。

②出席について

メイクアップ：ロータリアンは、欠席した例会の**メイクアップ**を同じロータリー年度内に行うことができる。

③クラブ財務について

クラブ人頭分担金の増額を下記のとおり実行しなければならない

：2019-20年度の人頭分担金は半年ごとに34ドル、2020-21年度には半年ごとに米貨34ドル50セント、2021-22年度には半年ごとに米貨35ドル、2022-23年度には半年ごとに米貨35ドル50セント

④職業分類について

地域にクラブを結成する際の**職業分類**の制約がなくなりました。

⑤会員増強について

ローターアクトクラブについて

ロータリークラブのように、ローターアクトクラブも**国際ロータリーの加盟クラブ**となります。

⑥少人数のクラブについて

会員数が6名未満となったクラブを終結とするよう、ガバナーがRI理事会に要請することができます。

⑦「四つのテスト」の掲示について

ロータリークラブが**四つのテスト**を掲示することを推奨することに同意しない。

以上。

〈マローニー会長と山崎研修リーダーの説明要約〉

8月2日青森県八戸のIMにマーク・ダニエル・マローニー国際ロータリー会長に今回の「規定審議会の決定についての対応」をお聞きしました。

20世紀末から日本、米国等先進地域でのロータリー会員数の激減が起り始め、RIは危機を抱いてきました。そこで、RIのロータリー改革の必要性が論じられてきました。その時期は戦略計画が叫ばれた



時期です。2001年からR I 理事会、規定審議会が審議採決を新設、変更、削除を繰り返した。また試験的プロジェクトを繰り返し、危機への対応を探ってきました。数々の提案に多くのロータリアンは驚いたり、失望したり、喜んだりしましたが、2016年「柔軟性」を取り入れることでロータリーを改革しようということになり、2019年には「より柔軟性」と取り入れる改革が進んだ結果が、今回の規定審議会での制案の決定です。ロータリアンの皆さんは柔軟性を利用して、自分のクラブの活性化に取り組む必要があるのです。すなわち、「あなたのクラブが良い状態ならば、変える必要はない。将来に向けて問題があるならば、変えるべきである。」変えたいときに順応性と柔軟性は重要である。ただし、「ロータリーの親睦と奉仕の理想は変わらない。ということです。まずは硬直化してないか？クラブが元気になるためには自分のクラブの問題点を探ることから始まります。(R I 会長談)

要点

2019年度12月のクラブ総会では次の事を決めてもらわないといけません。

①「クラブ定款」は審議会議決どおり変更すること。②ただし、「クラブ細則」は“柔軟性の原則”に基づき、あなたのクラブの理想と考える運営方針のとおり自由に變更してよい。という事になります。結果的には定款と細則の間に矛盾が生じますが、クラブ活性化のためにはR Iとしては了解しているとの事です。(山崎R I 研修リーダー談)

クラブ改革の為の問題点を探る方法として、2019年7月13日の第3ゾーンの研修会での基調講演で前橋RC本田博己バスターガバナーが「クラブ改革宣言」とその優れた効果が紹介されました。「クラブ改革宣言」はCLPによる地区・クラブ活性化の目的で2006年から実施され、現在も実施されているものです。当地区の私、花島ガバナーエレクト、塚崎ガバナーノミニーも講演を拝聴いたしました。この改革で使用されたものと同じのものが第2940地区で2019年2月に実施された「クラブ活性化アンケート調査」です。クラブの問題点は今年度実施された「クラブ活性化アンケート調査」を参考にしてください。公式訪問時に各クラブの改善点を説明いたしました。全会員の皆様には一人ずつお配りした資料に記載してあります。再確認してください。会員の理想像やクラブの理想像に近づけることがクラブ改革の要点ということになります。皆さんのクラブが今回の規定審議会の決定に迷わされることなく思い切ったクラブ改革を実現してください。

注：規定審議会はR I 理事会とは別組織です。

国際ロータリー第2740地区クラブ会長 各位 2022～2023 ガバナーノミニー・デジグネート推薦の件

国際ロータリー細則第14.020.4項により、2022～2023年度ガバナーに就任するガバナーノミニー・デジグネート候補者の推薦を希望するロータリークラブは、2020年2月15日までに地区ガバナー指名委員会宛（国際ロータリー第2740地区ガバナー事務所気付）に文書を以てご推薦下さい。推薦する場合には、候補者を推薦することをクラブ例会で決議した後に、クラブ幹事はその決議を証明する形で推薦書を提出して下さい。

尚、ガバナー指名委員会がその選択をするにあたっては、その選択の範囲は地区内クラブによって提案された指名に限定されるものではありません。

ガバナーノミニー・デジグネートの資格条件は、国際ロータリー細則第16.070項をご参照下さい。

ご推薦のない場合は、指名委員会で決定された方がガバナーノミニー・デジグネートになります。

ガバナー 千葉 憲 哉

ガバナー公式訪問クラブ報告



平戸RC 7月18日(木)

会長 俵屋 敦 幹事 久枝 啓介

令和元年7月18日、千葉憲哉ガバナー、法師山真人ガバナー補佐、大石竜基地区幹事をお迎えしての公式訪問を開催致しました。

例会前の三役懇談会では、アンケートの調査結果に関すること、例会等出席率の向上、ロータリアンとしての親睦の大切さ、平戸ロータリークラブの現況報告に続き当クラブでの問題点についてお話をしました。千葉ガバナー、法師山ガバナー補佐からは私達のクラブの立場に立った視野から様々なアドバイスを頂きました。

千葉ガバナーのご講話では、「私はロータリーを楽しむこと、RIの変化で疑問に思ったこと、キュープラロス、ファシリテーションを取り入れるのが良い……」などの熱意あるお話を頂き、ロータリアンとして立ち止まった時、ロータリーの原点に戻る事で力もらえると感じて頂いた気がしました。

次年度、平戸ロータリークラブ創立60周年を迎えます。会員相互の連帯感及びさらなる親睦を深めてクラブの持続的可能な基盤形成を進めていきたいと思えます。本当に貴重な時間を頂き改めて厚く御礼申し上げますとともに、今年度のご活躍を心よりご祈念申し上げます。



唐津RC 7月23日(火)

会長 鈴木 謙一 幹事 戸川 忠俊

現在、62名の会員が所属しています。最年少者35歳から最年長者88歳と、会員間の年齢幅が広いのですが、例会の始めに「挨拶タイム」ということで、皆で握手をしています。この握手による交流が、功を奏して会員同士のコミュニケーションが非常に旨くいっていると思います。

姉妹クラブとしては、韓国麗水ロータリークラブと台湾大甲ロータリークラブですが、来年2020年11月6日には、麗水ロータリークラブとの姉妹締結50周年を迎えることになります。

当クラブは、地元唐津西高インターアクトクラブのスポンサークラブです。青少年奉仕活動としては、ロータリアンがインターアクトクラブの例会に参加して関与することが、とても大事だと考えます。今年度は、ロータリアンによる卓話をインターアクトクラブの例会時に実施することにしました。ロータリークラブの周知活動の意味もありますが、高校生が自身の進路を考える上で参考としてもらえればとの思いもあります。

昨年度の唐津中央RCに続いて、第4グループのIMを主催させて頂きます。現在、2020年2月24日の開催に向けて、実行委員会を立ち上げて動きはじめたところです。





ガバナー公式訪問クラブ報告



佐世保北RC 8月5日(月)

会長 蒲池 芳明 幹事 村瀬 高広

2019年8月5日第1例会日にて、千葉憲哉第2740地区ガバナーの公式訪問を開催いたしました。

例会前に千葉憲哉ガバナー、大石竜基地区幹事、岡田金助ガバナー補佐と当クラブより蒲池芳明会長、近藤竜一エレクト、村瀬高広幹事を交えて懇談会を開催し、当クラブの主な事業、地区補助金事業、ロータリーを通しての地域との関わりなど説明を行いました。

今回は、特に千葉ガバナーが力を入れておられるロータリーアンケート調査の結果について当クラブへの講評について説明がありました。例会では千葉ガバナーに卓話をして頂き、

- ① RI会長の新年度運営方針
- ② 国際ロータリーの運営方針
- ③ 第2740地区の運営方針
- ④ アンケート調査結果について当クラブに関すること
- ⑤ 職業奉仕について

などロータリーへの熱い思いを話して頂きました。

特に今年度のロータリーアンケートによりクラブの会員がどのような方向に向かっているのかなど良い点・悪い点を分析して説明して頂きました。

自由に思いを語り合い、あらゆる仮説を引き出しながら、チーム意識と相互理解を深めていくような意思決定を行うようにと要望をされました。また今後は会員増強にも力を入れ、クラブの自治権や柔軟性の行使についてはあくまでも中核的価値観の範囲内で行うことについても説明がありました。

緊張感が漂いつつも、わかりやすく丁寧に述べられ、終始和やかな公式訪問となりました。

千葉憲哉ガバナーの公式訪問に感謝いたしますとともに、今年度のご活躍を心よりご祈念申し上げます。



ハウステンボス佐世保RC 8月20日(火)

会長 道添 昭仁 幹事 杉山 和宏

2019年8月20日(火曜日)国際ロータリー第2740地区千葉憲哉ガバナー、大石竜基地区幹事、岡田金助ガバナー補佐をお迎えして、ガバナー公式訪問例会を開催しました。

例会に先立ち、会長(道添)、幹事(杉山)、会長エレクト(古市)との懇談会を行い、当クラブの現況、今年度の運営方針と活動計画について報告させていただきました。

本クラブは会員数23名、今年創立24周年となること、今年は「つなぐ」をテーマにし様々なことにチャレンジしたいと考えていること、先の大戦で亡くなられた方々が眠られる釜墓地霊園の清掃を続けること、例会は、ホテルヨーロッパパレンブラントホールを主に開催することで創立以来一度たりとも同じメニューがなく優雅に食事を愉しみ、会員間の親睦に花を添えてもらっていることなど報告しました。優雅な雰囲気と食事メニュー、また女性会員が在籍していることなどにより、例会自体に参加したくなるクラブであると大変なお褒めの言葉をいただきました。

例会では千葉ガバナーよりRI会長の方針(ロータリーは世界をつなぐ)、さらに地区方針(チャレンジしよう!)についても具体的に解説をいただき、既定概念にとらわれず、女性会員の増加がクラブ繁栄に大きく影響することなど、ロータリアンとしての考えを深めることができました。

ガバナー公式訪問例会はRIの国際的な広がりや連携が確認され、第2740地区の連携もより深まり、大変有意義な時間となりました。

ガバナー公式訪問に深く感謝するとともに、お体に留意されまして、千葉ガバナーのご活躍を心より祈念申し上げます。



ガバナー公式訪問クラブ報告



諫早西RC 8月21日(水)

会長 木村 暢義 幹事 山口 大司

去る8月21日夜の例会に千葉ガバナー、栄田ガバナー補佐、大石地区幹事をお迎えして ガバナー公式訪問例会を開催致しました。

例会に先立ち、当クラブの会長、幹事、会長エレクト、副会長の参加で懇談会が行われました。千葉ガバナーとは、今迄第8グループ内の色々な会合でお会いしたり、又ガバナーの気さくで、気取らない性格もあり、和気あいあいと懇談する事が出来ました。

ガバナーから定款・細則への対応や、ロータリーが同好会にならない様、ロータリーの原点、特に職業奉仕について分かり易い説明を受け、もう一度ロータリーを理解し、ロータリーの魅力を見つめ直そうとの指導を受けました。

我がクラブとしても、栄田ガバナー補佐に、諫早5クラブ合同の委員会活動、新入会員の勉強会や、諫早駅前再開発の真っ最中なので、新諫早駅に大きな案内板等（諫早の史跡等を表示）の寄贈等、5クラブ合同会長幹事会を開いて話し合っ欲しい等の要望を快く聞き入れて頂きました。千葉ガバナーのロータリーに対する熱意に心打たれた有意義な1日でした。



大町RC 8月22日(木)

会長 釜崎 博昭 幹事 一ノ瀬 晃

8月22日、公式訪問の際には千葉ガバナー、大石地区幹事、平岡ガバナー補佐のご出席を賜りました。お忙しい中ありがとうございました。

大町クラブは、15名で構成している少数精鋭のアットホームなクラブです。昔は会員数40名を超える時期もありましたが、時代とともに減少していき現在の会員数に落ち着きました。というか個性人が残ったと言った方が妥当かもしれません。このメンバーたちは各地域ではちょっとは名の知れ渡った一筋縄ではいかない職業奉仕を第一に考える曲者集団なのです。毎週木曜日の12時30分から始まる例会は、ロータリーソングから始まり四つのテスト、その後オリジナルの体操（毎回S A Aが担当者を指名、その担当者の即興で行う。）、体操が終わったら



全員と満遍なく握手。一緒に食べる昼食は、雑談が飛び交いたまに吹き出しそうになることも。とにかく日本一メーキャップがしやすいクラブです。事業活動では、千葉ガバナーにもお伝えしましたが、今後ロータリー補助金を利活用し地域内の小学校や福祉施設等に、教育器材や健康福祉に役立つ機材を配給できるよう計画実行したいと思います。また、今年度のクラブ運営の中で、ほかにも大町クラブの特性を生かせる事業活動がないか模索したいと考えます。

ガバナー公式訪問クラブ報告



長崎西 R C 8月27日(火)

会長 許斐 義彦 幹事 嶽本 幸次

2019年8月27日(火)、長崎西ロータリークラブのガバナー公式訪問が行われ、千葉憲哉ガバナー、浦信夫ガバナー補佐、松田洋一副幹事の3名にご来訪いただき、無事に終了しました。御訪問ありがとうございました。また、色々とお指導、アドバイスをいただき、今後の運営の糧にしたいと思っております。

さて、千葉ガバナーから、ガバナー月信にはクラブの特長ある活動内容等を上げて欲しいとのご要望でしたので、2点ご紹介いたします。

①児童養護施設マリア園への毛布クリーニング活動

長崎西 R C の奉仕活動として1986年から30年以上続いており、当初は、当クラブの三宅敏彦会員（クリーニング業）が、施設の子供たちのために何か役にたつことをと考え、スタートいたしました。きれいにクリーニングされた自分の毛布を見つけ大喜びする子供たちを見ること、暖かい毛布に包まれて眠る姿を思うことが、会員にとっても喜びとなっております。毎年寒くなる前の9月の朝、多くの会員が集まり毛布を施設から集配の車に乗せます。そして、クリーニングが終わった午後からもまた会員が集合し、車から施設へお渡しすることを続けています。施設のスタッフや子供たちも一緒に手伝い和やかな雰囲気の中、最後に感謝の言葉をいただくと、また来年も頑張ろうと心からそう思います。

②桜の植樹

社会奉仕委員会の継続事業で地域社会の環境保全を趣旨とし、1996年に風頭公園に50本の桜を植樹。それから毎年1本から2本の桜を植え、春に市民や観光客に喜んで貰おうと、長崎市内の風頭公園、平和公園、唐八景と場所を移し植樹してきました。また、今年の3月には当時の会長の“船からも花見ができれば”という思いで高島に10本の桜を植えることになりましたが、離島に桜を植える場合、海岸でも育つ樹の選定から場所の確認などで大変苦労しました。しかしながら、春に高島で満開の桜が見られることを考えると心が躍り、これからも継続していきたいと思っております。

以上、奉仕活動のご紹介をさせていただきました。



諫早 R C 8月30日(金)

会長 酒井 明仁 幹事 村田 好隆



今年度60周年を迎える諫早 R C では、周年記念式典開催準備の他、国交省や諫早市の協力を得て、2018年～2020年まで3年間かけ、諫早永昌宿～湯江宿間にて、訪ね歩く人々の道案内の導きとなる「多良海道案内看板設置事業」に取り組んでおります。そんな当クラブで、8月30日(金)千葉憲哉ガバナー、柴田元信第8 G ガバナー補佐、大石竜基地区幹事をお迎えし、ガバナー公式訪問例会を開催いたしました。

当クラブの活動報告要旨は前もってご覧の上すでに隅々まで把握されており、クラブからの現況報告もさておき、まずはガバナーの地区運営への熱い思いをお話になりました。クラブロータリーでのアンケート調査の結果、当クラブと同じ様な、他の老舗クラブに散見される「クラブに受け入れられていない」という退会予備軍が1名もいないという意外さ、諫早 R C のメンバー間の強い結束力にとっても感心しておられました。アンケートの「改善項目」をキチンと取り組みチェックしていくことにより、そのクラブの問題点や改善点（CLP）が見えてくること、さらにはクラブに戦略委員会を設け、改善項目を明らかにすることにより目標が出来、それらがクラブの活性化につながり、ひいては会員数の増加と健全なクラブ運営につながっていく。全国の中でそういう変革の事例が出てきているクラブが複数あると教えていただきました。

例会は昼食の諫早の『鰻ーうなぎ』を、訪問の皆様と当クラブメンバーでいただきつつの交流・懇親となりました。ガバナー卓話ではプロジェクターを用いて、ガバナー自らが当クラブメンバーと向かい合い、地区運営方針等を説明をされました。規定審議会について、クラブ内で是非討論をして、もっと声を上げていこう、それぞれのクラブの意見にこそ、R I を変革していく力があるのだという千葉ガバナーの情熱と親近感が伝わった卓話となりました。

まだ当分暑さが続くかと思われそうですが、お身体に充分ご留意され無事に公式訪問を終了されることをご祈念申し上げます。



ガバナー公式訪問クラブ報告



長崎中央 R C 9月2日(月)

会長 高田昌一郎 幹事 渡邊 芳明

9月2日(月)の第1267回例会に、千葉憲哉ガバナー、小野原卓嗣第10グループガバナー補佐、大石竜基地区幹事をお迎えし、ガバナー公式訪問を開催いたしました。

例会前に千葉ガバナー、小野原ガバナー補佐、大石地区幹事に、当クラブの会長、会長エレクト、幹事、副幹事を交えて懇談会が行われました。ここでは、当クラブに関し、アンケートの結果から、公共イメージに関する活動が弱い、クラブに必要とされていないと感じる会員がいなかったことは良いことであるとのご指摘をいただきました。また、委員会構成がCLPに沿っていないが、クラブがやりやすいように構成すればよいのであり、気にしないでよいとのお話もありました。また、戦略計画委員会の設立に関してガバナーからお尋ねがありましたが、当クラブは現在、戦略計画委員会の設立に向けてワーキンググループを立ち上げた旨ご説明しました。さらに、2021～2022年度のガバナーを当クラブの塚崎寛会員が拝命したことに関し、その準備等々に関してアドバイスをお願いしたところ、ガバナーからもガバナー補佐からも大変有意義な、心のこもったアドバイスをいただきました。

例会では、アンケート結果をもとに作成された当クラブ専用のスライドを使用して、ガバナーに卓話をしていただきました。ロータリークラブの本質にかかわる、一歩も二歩も踏み込んだ内容に、会員は熱心に聴講していたと思います。

ガバナーの公式訪問に感謝いたしますとともに、ガバナーはじめ、地区役員の方々の今後の益々のご活躍を心より祈念申し上げます。



2006年より毎年秋に実施している
ホースセラピー体験会の写真です



佐世保西 R C 9月3日(火)

会長 鴨川 潔 幹事 酒井 英士

9月3日に千葉憲哉ガバナー、法師山真人ガバナー補佐、大石竜基地区幹事をお迎えし、ガバナー公式訪問例会を開催致しました。

懇談会では、当クラブ会員満足度アンケートについての検証を頂き、当クラブの強みや他のクラブの現状を教えて頂きました。会員増強や退会防止について、女性会員を増やすことの効果や会員相互の親睦を深めることの大切さなどの意見交換もあり、和やかな雰囲気での非常に有意義な会となりました。西クラブの良さが少しでもお伝えできていたら幸いです。

例会では、ロータリークラブの歴史や原点・目的や、今の時代に合わせた活動など、パワーポイントと資料をもとにガバナーの分かりやすいご講話を拝聴し、ロータリーについて改めて学ぶことができました。

この機会をクラブの活性化につなげたいと思います。

千葉ガバナーをはじめ、ご来訪いただきました皆様方のご健勝とご活躍をお祈り申し上げます。



ガバナー公式訪問クラブ報告



有田RC 9月3日(火)

会長 西山 保広 幹事 益田 保彦

9月3日「保名」にて、千葉憲哉ガバナー、平岡清宏ガバナー補佐、大石竜基地区幹事をお招きし公式訪問例会が行われました。

例会に先立っての懇談会では、千葉ガバナーより当クラブの問題点や方向性等明確なアドバイスを頂き、今後のクラブ運営に大いに役立つものになりました。

今回当クラブでは数年ぶりの懇親会を含めた夜の公式訪問例会ということで色々と心配していましたが、千葉ガバナーの分かりやすくユーモアに溢れた例会卓話をはじめに、懇親会でも和気あいあいとした雰囲気の中で無事終了することが出来ました。

有田RCにおいては、当地出身で日本人として初のロータリアンである福島喜三次翁の功績を顕彰し、今から53年前の創立5周年記念事業として福島奨学資金が創設されました。喜三次氏の座右の銘は「利他即自利」(自分も幸せになり他人も幸せにする)これはロータリーの精神に共通するところがあります。この志に則り歴代会員の拠出金による恒久的事業として青少年の人材育成支援の為に長年にわたり寄与し、多くの有為な人材を送り出しています。

そして今年度、会員個々の企業がより元気になり、会員同士の友情を深め、力を合わせてよりよい社会を目指していく上にも、会員の増強は不可欠なものであるとし会員純増5名を重点目標としています。



長崎南RC 9月4日(水)

会長 松尾 友平 幹事 谷川 任宏

令和元年9月4日(水)にANAクラウンプラザホテル長崎グラバービルにおいて国際ロータリー2740地区千葉憲哉ガバナーをお迎えして公式訪問例会を行いました。

長崎南ロータリークラブは長崎南ロータリークラブ杯として長崎県中学・ジュニアラグビー(7人制)大会を、すでに11回開催しています。去年は14チームが参加、ロータリーメンバーは20名参加しました。今年も第12回を令和元年9月16日(月)に開催する予定です。

又、今年は創立55周年の節目の年で、令和元年9月26日(木)に創立55周年の記念式典を開催する予定です。

また、広島東南ロータリー様のご協力依頼により「広島・長崎爆心地中間点上毛町―未来へつなぐ平和の架け橋」事業を行うことになりました。

福岡県築上郡にある上毛町の大池公園に原爆樹木の植樹を、広島市、長崎市、上毛町、広島東南ロータリークラブ、豊前ロータリークラブ、長崎南ロータリークラブが協力して行うものであります。

広島と長崎は被爆都市として核廃絶や平和推進に関する不断の努力を続けています。両市の爆心地の中間点に両市の被爆樹木の苗を植樹した記念スペースを設け、新たな平和の拠点とするものです。

平和の拠点が広島市と長崎市の2つの点だったものを、爆心地の中間点である上毛町を新たな拠点とすることで線になり次に面にしていこうというものです。

9月21日(土)に植樹と記念式典を上毛町で広島市長、長崎市長も参加して行う予定です。



ガバナー公式訪問クラブ報告


多久RC 9月5日(木)

会長 江里口尚子 幹事 古川 英敏

9月5日(木)、千葉憲哉ガバナーをお迎えし、公式訪問例会を開催しました。折しも8月28～29日の九州北部豪雨から1週間しか経っておらず、クラブの中にも被災した会員が7名程おりました。そんな慌ただしい中、とても緊張しながら当クラブ会長・幹事・エレクトとの懇談会を行いました。ロータリークラブの原点をととてもわかりやすく説明していただき、目からウロコの感覚でした。

ロータリーのFive steps

1. 例会への出席
2. 親睦（本音で相談できる固い友情を持つこと）
3. 「奉仕の理念」の実践（他人のことを思いやり、他人の為に尽くすこと）ひいてはこれが事業で「儲ける」コツであること
4. 「4つのテスト」でチェックする
5. 5大奉仕の実践（社会に良いことをしよう）

このロータリー哲学「奉仕の理想」を実践し伝えて新しい会員さんの退会防止をしていかねばと強く思った次第です。

アンケート結果からみえる当クラブの弱点も教えて頂き、ガバナーの気さくで優しいお人柄にも触れられた実のある例会でした。

ガバナー月信のガバナーズメッセージに書かれた「74回目の長崎原爆の日と思う」はとても感動し、会長の時間にご披露させていただきました。この多忙な一年間、御身体を大切に無事に過ごされますよう当クラブ一同お祈り申し上げます。

最後に、当クラブの活動を少しご紹介します。

火災予防を呼び掛けるチラシ（市内全戸配布）の贈呈は31年、市内小・中学校への図書贈呈は12年続けております。図書贈呈は、活字離れが加速する現代において少しでも本の魅力を取り戻せるきっかけになればという思いからでした。市の教育長から「非常に有難い。子供達が好きな本を購入できるので図書室へ来る子供達が増えました」とのお言葉を頂きました。子供達は感謝の手紙や色紙と共に、可愛い笑顔と温かい心を届けてくれています。


太良RC 9月5日(木)

会長 竹下 泰信 幹事 高木 茂

残暑が続く9月5日(木)、千葉憲哉ガバナー、平岡清宏ガバナー補佐、大石竜基地区幹事、戸坂浩明武雄RC出席委員長の4名をお迎えして、太良RCに於いて公式訪問例会を開催しました。

例会を開催するに先立ちまして、千葉ガバナー他3名と当クラブの会長、幹事、会長エレクトの7名で、当クラブ運営方針、目標、活動状況の概要などを説明いたしました。例会は会員10名全員が出席する中、担当部門の活動状況や運営方針等の概況を報告しながら、意見交換を行いました。

千葉ガバナーの卓話では、ガバナー作成の太良RC公式訪問資料を基にプロジェクターを使って、ロータリーの哲学、アンケート調査結果の説明、地区方針の内容など分かり易く説明して頂き、有意義な公式訪問となりました。

また、当クラブがロータリー創立25周年にあたり、地元地域社会に恩恵と重要な活動を実施してきた、ということでマーク・ダニエル・マローニーRI会長から感謝状を頂きました。

当クラブの会員は10名と小さなRCですが、これまで同様、和やかな雰囲気の中、会員の親睦は勿論のこと、他クラブとの親睦もより一層深め、地域に奉仕するロータリー方針を胸に充実した格調高い運営に、全員で努めていきたいと思っています。

これからも、第2740地区のみなさまの活躍を祈念申し上げ、今後ともよろしく願いいたします。



有田ロータリークラブとの合同例会

ガバナー公式訪問クラブ報告



長崎出島RC 9月6日(金)

会長 今村 茂雄 幹事 山口 孝司

令和元年9月6日に千葉ガバナー、小野原ガバナー補佐、大石地区幹事、松田地区副幹事をお迎えして第2740地区第10グループ最後のガバナー公式訪問例会が開催されました。

例会に先立ち、懇談会では前年度実施した「会員満足度アンケート」についてガバナーご自身で分析された当クラブの現況などの説明が盛り込まれた、公式訪問例会用の資料（例会時に全会員に配布しました）が用意され、それに基づくご指導をいただきました。

また当クラブが継続して実施している県内の児童養護施設で暮らす子供達を対象とした「長崎県児童養護施設 スポーツ・レクリエーションフェスタ」などの奉仕活動への取り組みや、クラブの公共イメージ向上のため、今年度作成



するパンフレット（新会員増強ツールとしても使用）なども説明し、ご意見をいただきました。

公式例会では、公式訪問例会資料を基にロータリーの歴史や現況なども分かりやすく話していただきました。内容はとても分かりやすく、新会員にも充分理解出来る卓話でした。

今年度も会員にとって楽しいクラブとなるように努めて参ります。



大村東RC 9月9日(月)

会長 中尾 光吉 幹事 諸岡 雅子

令和元年9月9日(月)12:30～千葉憲哉ガバナー、比良孝蔵ガバナー補佐、大石地区幹事をお迎え致しましてガバナー公式訪問例会が開催されました。

例会前の懇談会におきまして千葉ガバナー、比良ガバナー補佐より当クラブの活動計画、またアンケート結果についての感想やご意見等お話し頂いた中で、アンケート調査やグローバル補助金に関し当クラブは積極的に動かれていますと、お褒めの言葉も頂きました。ガバナーより今後ももっとロータリー活動を外向けに発信して行くよう工夫してほしいとの事、SNSや新聞に掲載するなどのお話や、アンケート結果に基づいて今後課題となる点など、また例会の中では資料をもとに卓話をして頂きました。終始緊張感ある中、有意義な時間を過ごすことが出来ました。今年度中尾会長は基本方針の中に、マイロータリーへの登録を70%目標とされており、会員の皆様が登録することで足並みをそろえ、マイロータリーから得られるものを大いに活用し学んで頂きたいと願っております。現時点での登録は89%となっております。また掲載してある写真は今年度青少年事業の中で実地した城南高校での就職模擬面接の様様です。生徒たちの真っすぐな眼差しに私たちも真剣です。

もう1枚はロータリーデーに昨年実施したチャリティータウンゴルフ大会で大盛況により今年度も10月24日実施予定です。参加予定人数は330名程度です。

千葉ガバナーに置かれましてはまだまだ地区内外の行事が目白押しだと思いますが、お身体に留意され今後のご活躍をお祈りいたします。



ガバナー公式訪問クラブ報告



鹿島RC 9月10日(火)

会長 森 千枝子 幹事 荒木 範光

2019年9月10日千葉憲哉ガバナー、大石竜基地区幹事、平岡清宏ガバナー補佐をお迎えして、公式訪問例会を開催しました。懇談会は会長、副会長、幹事、理事含め10名、多数の参加をお願いしました結果、活発な意見交換でありました。

千葉ガバナーは昨年12月に実施したアンケート結果に、クラブの問題点が潜んでおり、今後のクラブ運営をつかさどる指標として、次のアンケートの結果に改善された結果が出てくることを望まれ、また、クラブ運営には懇親（酒飲み会でない）が必要と力説され、会員同士の触れ合いを多くする事で、退会防止にもなるし、お互いの信頼が深まり、ロータリー活動に魅力を感じるようになりますと申されました。

その後、当クラブでロータリークラブは単年度制であるがゆえの欠点もあるので、中長期の継続活動につなげていくため長期戦略委員会の設置を望む声が出てまいりました。

今回掲載している写真は、8月20日地元県立鹿島実業高校生徒の模擬面接会の模様です。今回で20回目を迎える事になりました。

生徒60名をロータリーメンバーの面接官15名が5グループに分かれ、本番を間近に控えた生徒との実践的な模擬面接を行います。この行事は、生徒だけの為だけでなく、メンバー自身にも貴重な勉強の行事となっております。生徒全員が希望先に就職できたらと願うばかりであります。



佐世保東南RC 9月11日(水)

会長 徳住 勉 幹事 吉田 大

9月11日(水)午後12時30分より佐世保東南ロータリークラブの例会場「ハウステンボスホテルオークラ」にて千葉憲哉ガバナーの公式訪問が開催されました。

例会に先立ち、千葉憲哉ガバナー、岡田金助ガバナー補佐、大石竜基地区幹事と当クラブ徳住会長、吉田幹事との懇談会を行い、当クラブの問題点や課題について適切なアドバイスを頂くことができ、実りある懇談会となりました。

これまで当クラブの会員は、ロータリークラブの事を「点」では理解していたと思いますが、今回の千葉憲哉ガバナーの卓話で「線」で繋がったと感じる事ができました。特に、「職業奉仕」の考え方・あり方については、当クラブ内でも見直す必要があることを痛感いたしました。

この学びをさらに実践すべく、今後のロータリーの活動に邁進していきたいと感じたガバナー公式訪問でした。千葉憲哉ガバナーの熱心なアドバイスに徳住会長はじめ会員一同が様々な刺激を受けました。有り難うございました。



ガバナー公式訪問クラブ報告



大村北RC 9月11日(水)

会長 鹿取 栄治 幹事 浦田 直彦

大村北ロータリークラブでは、令和元年9月11日、千葉憲哉ガバナー・比良孝蔵ガバナー補佐・大石竜基地区幹事に御来訪頂き、公式訪問例会を開催いたしました。ガバナーの卓話ではロータリーの原点・創成期の話等、分かりやすく説明していただきました。特に、我がクラブは、5年ほど前、大量の会員の退会ということがあり、会員数16名での活動の期間がありました。

当時の会長は、解散も視野に入れての就任を引き受けたとの話も聞いております。現在は、復帰組も含め10名増員し何とか大幅減少以前までの人数に戻り、今年度中には、安定して活動できる30名を目指したいと思います。

会員の熱心な会員増強により、若い会員が増えており、ガバナーの卓話は非常に有意義であったと思います。

当日は、夜の例会で行われ、時間延長もあり最後までロータリー談義に盛り上がりました。特に、千葉憲哉ガバナー・比良孝蔵ガバナー補佐・大石竜基地区幹事には、2次会までお付き合いいただき有難うございました。



雲仙RC 9月14日(土)

会長 七條 健 幹事 佐藤 誠

雲仙国立公園にも秋の気配が感じられ少し肌寒い9月14日土曜日、千葉憲哉ガバナー、大石竜基地区幹事、松田洋一地区副幹事をお迎えして公式訪問例会を開催しました。

例会前の懇談会では、当クラブの現状報告及び運営方針、活動計画等の説明をさせて頂きました。

その中で七條健会長（雲仙クラブチャーターメンバー）の考えられるロータリアンとは、千葉憲哉ガバナーの考えられるロータリークラブとは、について深い内容で対談され、充実した懇談会となりました。

千葉ガバナーによります卓話では、ロータリークラブの原点・互惠・親睦・歴史・ロータリークラブとライオンズクラブの違い等について、わかりやすくお話をさせて頂きました。

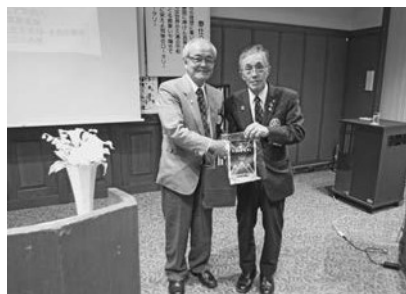
千葉ガバナーは真剣にロータリークラブを変化、活性化、つながる、育てる、伝える事の重要性を強く発信されました。私たちはその思いを心から受け取り感銘を受けました。

本当に気付かせて頂き、心よりお礼を申し上げます。

当雲仙ロータリークラブは今年度50周年を迎えます。

『奉仕して報いを求めず、受けて恩を忘れず』の精神で奉仕活動に邁進致します。

千葉憲哉ガバナーはじめ、地区役員の皆様には健康に留意され、益々のご健勝とご活躍を心よりお祈り申し上げます、公式訪問例会の報告とさせて頂きます。



ガバナー公式訪問クラブ報告



神埼 R C 9月17日(火)

会長 福山 和彦 幹事 藤村 敏江

残暑厳しい令和元年9月17日(火)に千葉憲哉ガバナー、大石竜基地区幹事、山崎唯之ガバナー補佐（当クラブ所属）をお迎えしてガバナー公式訪問例会を開催致しました。

例会に先立ち御三方と福山会長、野田会長エレクト、私で懇談会を行い、千葉ガバナーより公式訪問資料に基づき、ロータリーとは何か、アンケート調査の結果で我がクラブの問題点、今後取り組むべき方向性をお示し頂きました。

また、我がクラブが長年取り組んでいる少年の居場所づくり活動に対して実に良い活動だから今後も続けて欲しいという嬉しいお言葉を頂戴致しました。

例会では、我がクラブ恒例、参加者全員との握手で千葉ガバナー・大石地区幹事に歓迎の意を表し、好意と友情を深めました。

手前味噌ではございますが、我がクラブが団結していると言われる所以は、この握手にあると私は思っております。例会に出席して一言も話さずに帰る事は、我がクラブでは決してありません。会員同士が、笑顔で挨拶を交わし握手する。これぞ、例会に出席する最大の魅力だと自負しております。

これをご覧になった他クラブの皆様のメーキャップお待ちしております。

以上、公式訪問クラブ報告とさせていただきます。



小城 R C 9月18日(水)

会長 田中 博起 幹事 中島 信哉

チャレンジしよう！の目標の下、出席したくなる例会を模索している私たちのクラブは現会員数31名、6年間で3分の2が入れ替わりました。40代、50代の会員が増えて例会の雰囲気も自由度が増して、良く言えば和気あいあいのクラブですが、出席率は60%～75%程度で推移しています。

千葉憲哉ガバナーからは、「2740地区を変えたい！」という熱い思いとともに、クラブ活性化の手段として、アンケート調査の自己分析（クラブ毎に）、戦略委員会の設置、隣接クラブとの交流の促進、ファシリテーションメソッドでの例会運営等のアドバイスをいただきました。

また、「四つのテスト」の意味を正しく理解して唱和すること、当クラブ独自の奨学生制度、青少年サッカー大会の主催及びロータリーデーのイベント（ア・カペラコンテスト）等、多様な活動に際して地区補助金の活用を促されました。

今後もロータリー活動の原点とは何かを探求し、ロータリーの目的＝奉仕を通じて「奉仕の理念」を実現すること、職業奉仕＝有償で自分の生業で「奉仕の理念」の実現を目指すこと、そのことで、会員ひとり一人がロータリアンとしての自己形成が出来るように努力したいと思っています。



ガバナー公式訪問クラブ報告



佐世保東 R C 9月19日(木)

会長 橋口 正 幹事 坂口尉知朗

残暑もようやく和らいだ9月19日に、千葉憲哉ガバナーをお迎えしての公式訪問例会を開催いたしました。当日は、岡田金助第6グループガバナー補佐・大石竜基地区幹事にもご同行いただきました。例会に先立ち行われました懇談会では、クラブアンケート調査に基づく当クラブの運営状況について意見交換を行い、当クラブの長所や欠点ならびに少人数会員での効率的な将来につながるクラブ運営方法について、的確なご指導をして頂き大変勉強になりました。又、千葉ガバナーの例会卓話もロータリークラブの基本理念である職業奉仕について、長崎弁を交えながらわかりやすい言葉でお話しされ、例会の時間がものすごく短く感じた大変有意義な例会となりました。

ガバナーより地区補助金のお話がありました。当クラブでは奉仕プロジェクト事業の一環として佐世保東 R C 奨学金事業を平成9年度から行っております。今年度は「食と農」の分野を専攻する学生への教育支援と交流プロジェクトとして、長崎国際大学の学生へ奨学金の支給を行っております。これも地区補助金の支援のおかげで成り立っている事業でございます。又、当クラブ会員と奨学生との交流も楽しく、子供たちの将来につながる事業ですのでこれからも継続していく所存でございます。

ご来訪にあたためて感謝申し上げるとともに、今後のご健勝を祈念し報告と致します。



牛津 R C 9月20日(金)

会長 栗原 賢司 幹事 藤田 征巳

9月20日(金)12時30分より、セリオ2階コミュニティホールにて、千葉憲哉ガバナー、白石公太郎第1グループガバナー補佐、大石竜基地区幹事をお迎えしてガバナー公式訪問を行いました。千葉ガバナーより、ロータリークラブの原点から今のロータリーへの変化について解りやすくお話して頂き、大変有意義な例会となりました。ありがとうございました。

さて、牛津ロータリークラブの特徴として、親睦活動は欠かせないものとなっております。クラブ会員だけでなく、会員の家族も参加できるゴルフ会、夏の家族旅行、クリスマス会、またご夫人方に日頃の感謝の気持ちを込め、毎年2月頃に夫人のつどいを行っております。写真は昨年(2018)の夫人のつどいで、山口県下関市の春帆楼に行った時のものです。

また、もう一つの特徴として、地元に着した地域貢献の活動を行っており、牛津ロータリークラブは、今年度新たに2つの事業を行います。1つは、子供育成の一環として、小城市役所と相談し、砥川保育所の除草作業。その後、地域のボランティアの方と、参加型の大道芸で交流する予定です。もう1つは、小城市牛津町に在ります、保健福祉センター アイルの植樹整備です。

会長・幹事懇談会では地区補助金プロジェクトのお話もして頂き、こちらについては今後の奉仕活動のために是非活用させて頂ければと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。



ガバナー公式訪問クラブ報告



佐賀空港 R C 9月25日(水)

会長 小山 淳也 幹事 江口 和味

8月28日、水曜日は千葉ガバナーの公式訪問日でした。前日までに準備万端、よし明日に備えようと思った矢先、前日からの佐賀地方を襲った集中豪雨により、佐賀市内～小城市内～大町町～武雄市内は大規模な冠水による大水害に遭いました。

交通機関もすべてストップしパニック状態でした、ガバナー事務所より連絡あり佐賀まで行ける状態じゃないとの連絡がありました。

結局、9月25日(水)に延期になり千葉ガバナー、大石地区幹事、山崎ガバナー補佐に来訪いただきました。例会開催前に当クラブの小山会長、江口幹事、塚本会長エレクト、との懇談会があり、アンケートの調査結果に関する件では全体的において、アンケート調査は100%の全員参加であった、18名と少ないクラブであるが、総合評価はB評価で会員同士の親睦度も高く良好な運営ができていると、調査報告をいただきました。

改善項目の中の社会貢献を次年度は改善し更に高めていく必要があるとのこといただきました。

例会での卓話ではパワーポイントを使つてのわかり易く、堅苦しくない説明でした。

今後、当クラブのいくつかの改善点と更なるクラブの理想像、会員の理想像を高めていく必要があると思いました。大変有意義な時間で約40分間の卓話も短く感じました。またロータリー活動への意識が高まりました。

ご訪問有難うございました。これからも当クラブも様々な活動に力を入れていきます。



松浦 R C 10月2日(水)

会長 本吉 直之 幹事 武内 勝正

台風18号が接近する恐れがあった10月2日(水)松浦シティホテルに、千葉憲哉ガバナー、法師山ガバナー補佐、大石竜基地区幹事をお迎えして、ガバナー公式訪問例会を開催しました。

例会に先立ち、会長、幹事（会長エレクト）と懇談していただき、クラブの特徴や長年継続している奉仕活動も毎回工夫し地域の皆さまから喜んでいただいていることをご説明し、評価していただきました。

例会では、当クラブ恒例の握手の時間で、会員全員とふれあいながら挨拶をしていただき、卓話ではクラブを更に活性化させるポイントや地区補助金の有効活用について、わかりやすくお話しいただき有意義な時間となりました。

地区大会が盛大に開催され、ガバナーの益々のご活躍とご健勝を祈念してクラブ報告とさせていただきます。





2019年8月会員数・出席報告

グループ	クラブ名	例会数	平均出席率	会員数				当該月			累計
				7月1日	うち女性	当月末	うち女性	新入	退会	増減	
第1グループ	佐賀	3	81.6	74	5	74	5	0	1	-1	0
	小城	3	60.2	30	2	31	3	0	0	0	1
	牛津	3	85.2	30	0	34	1	1	0	1	4
	多久	4	75.2	38	5	38	5	0	0	0	0
	佐賀大和	3	74.0	26	6	26	6	0	0	0	0
	小計		75.2	198	18	203	20	1	1	0	5
第2グループ	佐賀西	3	69.8	38	2	38	2	0	0	0	0
	佐賀北	2	66.3	45	1	46	2	0	0	0	1
	佐賀南	3	69.4	38	4	41	4	1	0	1	3
	神埼	2	87.3	37	4	37	4	0	0	0	0
	佐賀空港	2	66.6	18	1	18	1	0	0	0	0
	小計		71.9	176	12	180	13	1	0	1	4
第3グループ	有田	2	73.3	28	0	30	1	1	0	1	2
	武雄	3	92.3	56	5	56	5	1	0	1	0
	鹿島	2	93.8	34	4	33	4	0	0	0	-1
	嬉野	4	91.3	26	2	26	2	0	0	0	0
	大町	3	75.5	11	0	15	0	0	0	0	4
	太良	4	92.5	10	0	10	0	0	0	0	0
	小計		74.1	165	11	170	12	2	0	2	5
第4グループ	唐津	3	97.0	61	0	62	0	0	0	0	1
	伊万里	3	87.2	29	0	29	0	1	0	1	0
	唐津東	4	90.4	50	0	50	0	0	0	0	0
	唐津西	2	82.5	34	0	35	0	0	0	0	1
	伊万里西	4	96.7	41	0	42	0	0	0	0	1
	唐津中央	4	82.5	37	3	38	4	0	0	0	1
	小計		89.4	252	3	256	4	1	0	1	4
第5グループ	佐世保	2	100.0	78	0	79	0	0	0	0	1
	平戸	4	74.8	29	2	29	2	0	1	-1	0
	北松浦	3	87.0	25	0	25	0	0	0	0	0
	佐世保西	2	84.8	24	4	24	3	0	0	0	0
	松浦	2	85.7	26	1	28	1	0	0	0	2
	小計		86.5	182	7	185	6	0	1	-1	3
第6グループ	佐世保南	4	100.0	62	0	62	0	0	0	0	0
	佐世保東	4	81.2	23	0	24	0	0	0	0	1
	佐世保北	3	100.0	40	2	40	2	0	1	-1	0
	佐世保中央	4	85.9	46	1	47	1	0	0	0	1
	佐世保東南	2	61.5	39	0	40	0	0	0	0	1
	HTB佐世保	2	82.3	23	2	23	2	0	0	0	0
	小計		85.2	233	5	236	5	0	1	-1	3
第7グループ	大村	2	85.2	48	4	49	4	1	0	1	0
	島原	2	68.4	30	2	30	2	0	0	0	0
	雲仙	4	84.4	14	0	14	0	0	0	0	0
	大村北	3	87.5	24	1	26	1	2	0	2	2
	島原南	3	65.0	25	0	25	1	0	0	0	0
	大村東	3	83.9	37	3	37	3	0	0	0	0
	小計		79.1	178	10	181	11	3	0	3	2
第8グループ	諫早	4	81.8	72	0	75	0	0	0	0	3
	諫早北	4	81.5	74	4	74	4	0	0	0	0
	諫早西	3	95.4	45	0	45	0	0	0	0	0
	諫早多良見	4	93.2	32	0	34	0	0	0	0	2
	諫早南	1	86.7	14	8	15	9	0	0	0	1
	小計		87.7	237	12	243	13	0	0	0	6
第9グループ	長崎	4	86.3	74	0	73	0	0	2	-2	-1
	福江	4	81.8	33	0	35	0	2	0	2	2
	長崎北東	2	81.3	41	3	41	2	0	0	0	0
	福江中央	2	89.5	21	0	21	0	0	0	0	0
	長崎西	2	84.6	43	1	44	1	0	0	0	1
	長崎琴海	2	66.7	11	0	11	0	0	0	0	0
	小計		81.7	223	4	225	3	2	2	0	2
第10グループ	長崎北	3	79.4	80	0	78	0	0	0	0	-2
	長崎南	3	80.2	72	0	73	0	0	0	0	1
	長崎東	4	69.1	40	2	40	2	0	1	-1	0
	長崎みなと	3	91.4	30	1	30	1	0	0	0	0
	長崎中央	3	94.5	55	0	55	0	0	0	0	0
	長崎出島	4	82.6	71	12	72	12	1	0	1	1
	小計		82.9	348	15	348	15	1	1	0	0
56クラブ合計			81.3	2,192	97	2,227	102	11	6	5	34

*上記の表の新入・退会は当月中の数字で、累計は7月1日から2019年8月末までの増減です。



新入会員紹介

私たちの新しい仲間になられました方々をご紹介します。 ※氏名の下部は勤務先、役職

※今月号に掲載が間に合わなかった新入会員の方のご紹介は、次号に掲載させていただきます。



有田 R C
碓 敦司 君
DM AUTO
代表



有田 R C
王子 直子 君
社福)浄土福祉会あかさかランビニー園
園長



牛津 R C
深川そよか 君
(一社) YOKA-By
代表理事



武雄 R C
片瀬 克明 君
九州ひぜん信用金庫
本店営業部長



佐賀南 R C
岩谷 正彦 君
アイシス(株)
代表取締役



伊万里 R C
山崎 洋一 君
伊万里信用金庫
常勤監事



大村 R C
山口 稔 君
長崎空港ビルディング(株)
取締役



大村北 R C
音成 征彦 君
(株)マツヤ工業
代表取締役



大村北 R C
長津 弘 君
長津眼科医院
勤務医



長崎出島 R C
古村 一也 君
(株)日本旅行長崎支店
支店長



物 故 者

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。



佐世保北 R C

森 豊 君

(享年70歳)

寄付者紹介

御厚意に深く感謝申し上げます。認証者の方を掲載いたします。

ロータリー財団		
種 類	氏 名	クラブ名
メジャードナー	菊 地 廣 行	大 村 北
マルチプル・ ポール・ハリス・フェロー	嶋 崎 真 英	長 崎
	岡 田 康 信	長崎中央
	有 田 信 一	長崎中央
ポール・ハリス・フェロー	鶴 田 征 宏	佐世保南
ポリオ・プラス	木 村 公 康	佐 世 保
	作 元 誠 司	佐世保南

米山記念奨学会		
種 類	氏 名	クラブ名
米山功労者 メジャードナー	川 野 恒 雄	諫 早 北
米山功労者 マルチプル	高 原 武 彦	有 田
	森 栄一郎	諫 早 北
	岡 田 康 信	長崎中央

No.1

JICA海外協力隊

マダガスカル通信

Vol.5

発行／2019年9月30日 発行者／酒井 貴子（2018-2019年度 ロータリー財団奨学生）



ホテルの壁で発見！



フィアナランツァ(Fianarantsoa)へ行きました！

初めての旅行でフィアナランツァへ♪

協力隊員は任地に赴任してからの3か月間、現地での生活に馴染むことを目的に原則他の地域への移動が禁止されています。そのため、私も5月に赴任してから8月まではアンブシチャから出ることができませんでした（勉強会という名目で3日間だけ出ましたが）。しかし、9月に入りようやく国内外を自由に移動できるように！ということで、初めての旅行として先輩隊員と一緒にフィアナランツァへ行ってきました。フィアナランツァは私の任地アンブシチャからさらに南下した所にあり、タクシーブレースと呼ばれるぎゅうぎゅう詰め乗り合いバスで4時間半ほどかかりました。フィアナランツァはワインや紅茶の生産が盛んであり、街自体はアンブシチャよりかなり大きく発展していました。しかし、都市に多く見られるように道路脇にゴミを捨てたり排せつしたりすることもあり、かなり衛生環境が悪そうな場所もありました。



左：高台からの景色。
右：アンブシチャからフィアナランツァまでの地図。乗り合いバスだと実際は4時間半ほどかかりました。

この旅行は3泊4日で、フィアナランツァを拠点に周辺の自然公園を回り、動物を見たり雄大な景色を見ながらハイキングしたりしました。色々回ったのですが、特に私が楽しかった、感動した点にポイントをしほってお伝えしたいと思います。



おまけ①：道中見つけたフルーツ屋さん。右のフルーツは右下のような赤いフルーツで、果肉はとてつぽく、種は噛むとショウウガのような刺激的な味でした！流麩の原料として使われているそう！

Parc Anjaでワオキツネザルを間近に！

私がまずとても感動したのは、Parc Anjaという自然公園です。フィアナランツァから1時間ほどの場所にあり、あまり有名な場所ではないのですが、ここで思いがけずたくさんの野生のワオキツネザルをかなり間近で見ることができました。木の背丈が低く葉が生い茂っていないため木の上のサルが見えやすかったのです。また、地面で主食の木の实を食べているサルもかなり近いところから観察できました。



左の写真はお腹に赤ちゃんが！下は主食である木の实を食べているところ。

この公園内には約300頭のワオキツネザルが生息しています。他の自然公園ではこんなに近くで見られることは珍しいようで、かなりの穴場でした。さらに公園内にはカメレオンも多数生息しており、ガイドさんが捕まえてくれて実際に触ることもできました。



雄大な自然に感動！

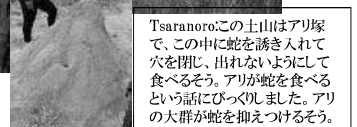
その他、感動したことはやはり雄大な自然です。マダガスカルには巨大な岩山が多く、Parc Anjaでもその後訪れたTsaranoroという谷でも雄大な景色を見ることができました。



Parc Anja、マダガスカルならではの田園とラポレーショ



Tsaranoro、木があまりなく、つづいた岩山が美しい。



Tsaranoro：この土山はアリ塚で、この中に蛇を誘き入れて穴を閉じ、出れないようにして食べるそう。アリが蛇を食べるという話にびっくりしました。アリの大量が蛇を抑えつけるそう。



Tsaranoroの山の上には左のようにカメレオンの形をした岩がありました！写真では頭と少し胴体が見えます。

一方で今回旅して思ったのは、マダガスカルは本当に木が少ないということです。薪を使って火をおこすことが主流であるほか、切った分を植樹することがないために、木がなくなってしまっているそうです。貴重な固有の動物たちを守るためにもParc Anjaのような自然公園は大切だと実感した旅になりました。

マダガスカルの固有種ハウシャガメ

マダガスカルの素敵な庭のあるホテルやお家にはよく写真のようなコンパクトなリクガメが飼われています。このカメは固有種ハウシャガメと言います。甲羅の模様が特徴的です。乱獲などで絶滅の危機にあり、ワシントン条約によってマダガスカルからの持ち出しは禁止されています。しかし、海外では数百万円で取引されていることから現地で非常に安く購入しスーツケースなどで密輸する外国人が問題となっています。



今回の旅行で泊まったホテルにも。貴重なカメがこんな身近で飼われていてびっくり！

今期のPAPRIZ(中央高地コメ生産性向上プロジェクト)始まる！

各地の農村を回っています！

マダガスカルではもうすぐ田植えが始まります。それに合わせて私の配属先でも今期のPAPRIZ実施の準備が始まりました。9月はPAPRIZを始めるに当たって、同プロジェクトに参加したい農家を集めるための活動が行われました。車で実施する予定の農村に出向き、PAPRIZの説明を行い、農民たちの中から代表で研修を受け、その後農民に技術を教える役目をするトレーナーを4人選びます。私もPAPRIZについての理解を深めるために農村訪問に同行しました。さらに、今後、私自身栄養改善に関する活動を行いたいと考えているため、現地の女性団体とのつながりづくりも目的の1つです。

農村に行くための道は舗装されておらず、ひたすらでこぼこ道を四駆で上下左右にがんがん振られながら向かいました。以前、マダガスカルを舞台にした小説を読んだときにマダガスカルは道はトヨタの四駆でないと進めないという表現がありましたがそれを実感しました。訪問するための車は四駆ではありますが、窓にひびが入っているなどかなり古いもので、5人乗りのものに6〜7人詰め詰めで出かけました。



農村に行ったら、車で村を一周しながらスピーカーで説明会を行うことを標榜で知らせました。



左の緑シャツの方が同僚農民にPAPRIZと今後の予定について知らせ、質問に答えています。

私もマイクを渡されたので、農民の皆さんの前で簡単な自己紹介を行い、それから今後栄養のある食事の紹介などを一緒にやりたいということを伝えました。まだまだ拙いマダガスカル語ですが、皆さん馬鹿にもせず、とても暖かく歓迎してくださり、本当にうれしかったです。また、同僚も私の言いたいことを補足してくれたり、本当に助けられました。



マダガスカルでは料理作りなどの家事を担っているのは女性のため、栄養改善活動において、女性への働きかけは必要不可欠となります。そのため、今回いろいろな農村に出かけ女性団体とご挨拶できたことはとても意義のあるものだったと思います。

農村訪問で気づいたこと

今回、農村に出かけたことで、かわいらしい子供たちにたくさん出会いました。みんな服はぼろぼろ、裸足でしたが、追いかけてっこをしりと、元気いっぱいでした。私がよく見ているアンブシチャの街の子供たちと比べてみて目立った違いは4〜5歳の女の子たちが、さらに小さい赤ん坊を背負っているということです。



この子たちはまだ就学する年齢以前なのかもしれませんが、この子たちが学校に行く年齢になった場合に、果たして子供の世話は誰がするのだらうと思いました。以前、別の村に行ったときに学校には行かずに家事をしているという14歳の子供に出会ったことがあるのですが、そのような実態が田舎にはまだまだたくさんあるのだらうと思いました。



赤ちゃんを背負ったまま追いかけてっこをして遊ぶ子供達。たくましい！

また、農村への道は本当にでこぼこだった上、主要な街までかなり離れている所が多く、そもそも栄養のある食材を手に入れることが難しいのかもしれないと感じました。実際に一つの村では以前に別の団体が同じように栄養改善の活動を行っていたのですが、道具がなさすぎて今ではなくなくなってしまったと言っていた女性もいました。また、セキュリティの問題もあります。私が一人で農村まで自転車で行きたいということを同僚に言うと、人殺しがいるからだめだ、特に私のような外国人はターゲットにされやすいと止められました。確かに田舎の方にはダハルという牛の窃盗集団がいるという話も聞きます。そんな中、街の市場まで食材を買いに行くということもおそらくとても難しいのだと予想されます。

このように農村をめぐる中でマクロからミクロの様々なレベルでの要因が重なり合って栄養失調や貧困を形作っているという、大学院で学んでいたことの現実をまさに見ている気がします。インフラやセキュリティについてはボランティア人では対応できないレベルの問題であり、私が1人でできることはあるのかと考えさせられてしまいますが、ボランティアという立場だからこそできることがあると信じて前向きに取り組んでいきたいです。



おまけ②：フィアナランツァ旅行で乗ったこの車はマダガスカル唯一の車メーカー産で、1か月に2台しか生産できないそう。ロゴはマダガスカルらしく牛のシルエットでした。見た目がかわいすぎて気に入りましたが、乗り心地は…(笑)

国際ロータリー第2740地区 2019-2020年度地区大会

Program プログラム

2019年



第1日目

11月8日 金

会場/L&L ホテルセンリュウ
長崎県諫早市永昌東町13-29

16:00～ ◎危機管理セミナー

18:00～ ◎歓迎晩餐会



第2日目

11月9日 土

会場/諫早文化会館
長崎県諫早市宇都町9-2

9:00～ ◎エクスカーション

10:00～ ◎大会4委員会・青少年のつどい

12:10～ ◎本会議第1部

14:30～ ◎地区大会記念講演
ケント・ギルバート氏

16:00～ ◎本会議第2部

17:30 ◎点鐘

一般公開
入場無料会場/ホテルグランドパレス諫早
長崎県諫早市宇都町3-35

18:30～ ◎記念懇親会



第3日目

11月10日 日

会場/長崎国際ゴルフ倶楽部
長崎県諫早市小ヶ倉町51地区大会記念
親睦ゴルフ大会

スタート時間 7:30～



地区大会記念講演

ケント・ギルバート氏

11月9日 土 ◎14:30～ ◎諫早文化会館

一般公開
入場無料

1952年、米国アイダホ州生まれ、ユタ州育ち。71年、米ブリガムヤング大学在学中に19歳で初来日。75年、沖縄国際海洋博覧会の際にアメリカ館のガイドとして再来日。80年、大学院を卒業し法学博士号と経営学修士号、カリフォルニア州弁護士資格を取得。東京の国際法律事務所に就職。83年、テレビ番組「世界まるごとHOWマッチ」にレギュラー出演し、一躍人気タレントとなる。近年は企業経営や講演、執筆活動も行う。

夕刊フジ連載「ニッポンの新常識」、読売テレビ系「そこまで言って委員会NP」、DHCシアター「真相深入り! 虎ノ門ニュース」など。



ホストクラブ: 諫早北RC コ・ホストクラブ: 諫早RC/諫早西RC/諫早多良見RC/諫早南RC

国際ロータリー第2740地区大会事務局 TEL.0957-46-3096

〒854-0016 長崎県諫早市高城町 5-10 諫早商工会館 302 号室 FAX.0957-46-3097 <http://www.d2740.org/>

芸術家の視点

地方の時代が叫ばれて久しい。

芸術文化の世界に身を置く人々の中には、以前から中央より地方に軸足を置き、活動した方々がいた。

一般人から見れば、異質の鋭い観察力や豊かな感性で創作に一身を投じたのである。

その成果は作品となって世に放流され、あまねく人々に新鮮な感動を与え続けてきた。

諫早に縁のある画家や書道家、詩人、歌人、文筆家を含む文化人の足跡を辿ると、限られた人生の中で如何にその生を全うしたか、今を生きる者に語りかけてくる。

ガバナー月信の紙面を借りられるこの機会に、皆さんに紹介することにした。

筑紫よ、かく呼ばへば

野呂 邦暢（作家）

東京から列車で九州へ帰って来て、筑紫平野へさしかかったあたりから、自分は故郷へ戻り着いたという実感を覚える。

光の色がちがうのである。肌に触れる空気のしっとりとした潤いを有明海周辺でなくては感じられないものであるような気がする。私にはそう思える。車窓から干潟が見え隠れするようになると、この感じがますます強くなる。

灰と銀色を主調に濃淡の茶褐色が入りまじって縞模様を織りなした軟らかい泥の拵がりを目にすると思わず知らず溜息を洩らす、とうとう帰って来たんだな、と思う。自分の土地である。短い旅行においてさえそうである。



有明海の干潟

編集後記

いよいよ8日(金)から3日間の地区大会が開幕する。

主管の諫早北クラブを筆頭に第8グループ全員でおもてなしをする所存である。

親睦ゴルフ大会はなんと150名のエントリーだ。

3日間懇親を深めたいものだ。

(雅)